

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、坂井輪図書館が重点的に取り組んだ事業。

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価			
				自己評価	外部評価		
ネットワーキングを活かした課題解決型図書館	◇全館共通評価項目	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・西区のレファレンス件数は前年より1.5%増加し、18,473件であった。	・レファレンス事例を蓄積し、情報共有を図った。 ・難しい内容の場合は、他館と協力し合い、迅速な情報提供に努めた。	3 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 1 評価できない。	・情報共有は、とても良いと思う。 ・一人ひとりの司書がそれぞれに得意分野を持つというのも強みになるのではないと思う。	
	◆館の重点評価項目	レファレンスサービスのPR	レファレンスサービスのPRに努める。	・レファレンスサービスについて、レファレンスカウンターや館内に標示し、声を掛けやすい環境づくりに努めた。	3 大変評価する。62.5% 2 ある程度評価する。25.0% 1 評価できない。12.5%	・人手不足の中大変だと思うが、利用者の近くに職員がいてもらうとお互いに良いと思う。	
特色ある地域づくり分権型図書館に寄与する	◇全館共通評価項目	地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・坂井輪図書館では、新潟の芸術や新潟出身の作家など新潟県に関する展示を行った。 ・内野図書館では、内野出身の作家である藤沢周氏の展示コーナーを継続して設置した。 ・黒埼図書館では、山田慶二氏の絵画を継続して展示した。	3 大変評価する。37.5% 2 ある程度評価する。62.5% 1 評価できない。	・目立たないコーナーで、ちょっともったいない。図書館なびで特集してはいかがか。	
	◆館の重点評価項目	郷土・行政資料の収集と整理	坂井輪図書館の郷土・行政資料を積極的に収集する。	・坂井輪図書館では郷土・行政資料を積極的に収集し、前年より286冊増加し、4,592冊となった。	・新潟に関連する新刊本の購入を積極的に行ったり、行政資料や郷土資料の寄贈を呼び掛けたりしたことで、目標を達成することができた。	3 大変評価する。50.0% 2 ある程度評価する。50.0% 1 評価できない。	
子ども・社会・民融合型読書推進する	◇全館共通評価項目	子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。 ・赤ちゃんタイムの利用を促進する。 ・うちどく(家読)を推進する。	・西区ではブックスタートを1,136人に実施した。(対象者数1,202人、実施率94.5%) ・赤ちゃんタイムは、西区3館すべてで実施している。また、坂井輪図書館では、全日2階一部フロアを子どもとみんなの広場として運用している。	・ブックスタート事業を通じて乳幼児を持つ市民に本を介した親子のふれあいを促進し、市民の健やかな家庭環境づくりに寄与した。 ・1歳歯科健診時に図書館や乳幼児期の読書活動について広く働きかけることができた。	3 大変評価する。62.5% 2 ある程度評価する。37.5% 1 評価できない。	・ブックスタートボランティアとの交流会を実施したそうだが、このような地道な積み重ねが外部の声を聴くことにつながると思う。 ・ミニリストの作成は司書のスキルアップになるし、図書館の新鮮な動きを感じることができる。
	◆館の重点評価項目	子どもの読書環境の整備	子どもや親子が図書館に来館することに抵抗をなくすため、子どもや親子対象の事業を行う。	・子どもや親子を対象した事業の参加者数は、前年より7.2%減少し、3,962人であった。 ・地域のイベントに参加し、本の貸出やしおりづくりを行い、子どもと保護者に図書館のPRを行った。	・参加型イベントや小イベントを継続して実施し、参加してくれた子どもたちには、図書館の楽しさをPRできた。 ・働き方改革により参加者数は減ったが、質の高い読み聞かせの実施ができた。	3 大変評価する。37.5% 2 ある程度評価する。62.5% 1 評価できない。	・「働き方改革により」と「質の高い」のところがよく分からなかった。 ・きちんと準備をした読みきかせは満足度が高いので、これからも続けてください。
市民参加型協働推進する	◇全館共通評価項目	ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・市民団体と共催の読書会などを定期的実施した。 ・地域住民や大学、商店等と連携して「うちのキッズらんど」、「大人の絵本ライブ」などの事業を実施した。 ・西区自治協主催の講演会等に「おでかけ図書館」として参加し、講演会の関連本の展示や本の貸出などを行った。	・坂井輪図書館、黒埼図書館の読書会などで市民団体と図書館の交流、連携が図られ、展示内容の充実にもつながった。 ・自治協議会主催の講演会で、関連本等の展示を行い、図書館のPRができた。	3 大変評価する。50.0% 2 ある程度評価する。50.0% 1 評価できない。	・「うちのキッズらんど」や「黒埼古本市」のような地域に根差した行事を大事にしてください。
	◆館の重点評価項目	民間団体等との連携	新たな団体貸出制度を活用して、地域の中に図書館の本を置き、本を通じたコミュニケーションづくりを行う。	・平成30年度の登録団体数は65団体、貸出冊数は16,972冊であった。	・多くの団体に、中央図書館が用意するテーマ別セットだけではなく、要望を聞き取り司書がセレクトする形で本を提供できた。	3 大変評価する。50.0% 2 ある程度評価する。37.5% 1 評価できない。12.5%	・各要望に司書が選書することは素晴らしい。これからはがんばってください。 ・もっと身近な図書館であればいいと思う。もっとオープンで、アットホームな雰囲気も大切だと思う。 ・職員がいつも見える場所において、お客様を見守っていることで、随分印象が変わると思う。 ・内野図書館には小さいからこそその温かみと信頼感を感じる。